

フクシ と アート 広報研修会

厚生労働省：令和元年度障害者芸術文化活動普及支援事業 東海・北陸ブロック広報研修会

障害のある方の創作活動が全国で広がってきました。展示会やパフォーマンスが様々なところで開催され、グッズ化などの動きも盛んになってきました。とても魅力のある活動なのですが、まだまだ外に向けての発信には課題があります。もっと多くの方にこの活動を知ってもらうために現場から様々な方へのアプローチや作品のディレクションを行っていく必要があります。今回は、広報とは何かを学ぶ時間にしたいと思います。

会場 障害者働く幸せ創出センター会議室

〒420-003 静岡県静岡市葵区呉服町 2-1-5 5 風来館(ごふくかん) 4 階

TEL：054-251-3515

定 員 20 名

対 象 障害のある方の創作活動に興味のある方

2020 年
2 月 17 日(月)
13:30~16:30

レクチャーⅠ『真面目なことを不真面目に、不真面目なことを真面目に、捉えなおしたり、語りなおしたり、なおさなかったりして伝えてみたり、外から勝手に伝えてもらったり』 13:35-14:50

情報発信のプロセスにはいくつかのハードルがあります。対象を調べたり方法を考えたり言葉を考えたり。福祉の世界でこのことを考えてみると、情報発信の必要性は叫ばれていても結局福祉の中で完結してしまう場合が多かったりします。今回、小松さんから『外へ開く』ということ語ってもらいます。

講師：小松 理虔さん 地域活動家・ライター

1979 年福島県いわき市生まれ。報道記者、雑誌編集者、かまぼこメーカー勤務などを経て現在はフリー。同市内でオルタナティブスペース「UDOK.」を主宰し様々な活動を行っている。単著『新復興論』、共著『ローカルメディアの仕事術』、震災文芸誌『ららほら』、『常磐線中心主義』ほか。

レクチャーⅡ『福祉だけで留まっているのはもったいない』 15:00-16:15

全国にある福祉施設と契約を結び、障害のあるアーティストが描いたアート作品の販売やファブリック展開などを手がけている松田さん。障害のある方の日々のルーティーンや暮らしの中から生み出される表現を、社会とつなげ続けています。外とつながるためのメッセージや伝え方を松田さんの実践を通じて学びます。

講師：松田 崇弥さん 株式会社ヘラルボニー代表取締役社長/CEO

小山薫堂率いる企画会社オレンジ・アンド・パートナーズ、プランナーを経て独立。異彩を、放て。をミッションに掲げる福祉実験ユニットを通じて、福祉領域のアップデートに挑む。ヘラルボニーのクリエイティブを統括。双子の弟。誕生したばかりの娘を溺愛する日々。日本を変える 30 歳未満の 30 人「Forbes 30 UNDER 30 JAPAN」受賞。

【申込方法・問合せ先】

QR コードもしくは、問い合わせ先メールアドレスに、件名を『広報研修参加希望』と記載し、①所属、②お名前、③日中対応が可能な電話番号を記載しメールを送信してください。

〒943-0834 新潟県上越市西城町 2-10-25 大島ビル 307 社会福祉法人みんなできの内 東海・北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センター

担当：坂野 TEL:025-530-7264 FAX:025-530-7261 Eメール：info@niigata-artbrut.net

主催 東海・北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センター 協力 静岡県障害者文化芸術活動支援センター「みらーと」

